

ショック状態への対応

1 ショックとは

○主要臓器への血液量が減少したために臓器や細胞のエネルギー産生が障害され、正常な機能を維持できなくなった状態です。

ポイント

●正常な循環が維持されるには、下記の条件が必要です。

- ①血液量が十分であること。
- ②血液に流れを与える心臓が機能していること。
- ③血液の通路である血管が正常な状態であること。

これらの条件が一つでも障害されれば、ショックとなり、生命に危険が及ぶほどの循環不全になります。

2 ショックの代表的な症状

○目がうつろになります。（虚脱状態）

○表情がぼんやりし問いかけに反応が鈍くなります（無欲状態）。

○皮膚は青白くなります（皮膚、顔面蒼白）。

○皮膚、特に手足は冷たく、汗（冷や汗）をかきます（皮膚冷汗、湿潤）。

○呼吸は浅く速くなります。

ポイント

●ショックの症状がみられる場合には、生命に危機が迫っている場合があります。直ぐに119番通報してください。

3 ショックに対する応急手当

○傷病者を仰臥位（仰向け）にします。

○血液の循環を妨げないようにネクタイやベルトを緩めます。

○汗を拭き、毛布や衣服を掛け保温します。